



学校だより かけ橋

横須賀市立汐入小学校 校長室

2011. 5. 16

No. 4



こいのぼり

5月5日の子どもの日には、こいのぼりをあげる家庭が多いと思います。学校でも、以前からこいのぼりをあげています。子どもたちの健やかな成長を願って、5月上旬には、毎日上げていました。青空に泳ぐこいのぼりの姿を見ると、元気がわいてきます。

今回の震災でも、弟のために青いこいのぼりを流された自宅の場所に立てたという話や相模川に多くのこいのぼりをあげる祭りを自粛するところだったが、そのまま、姉妹都市の気仙沼市に持って行ってあげたという話など、人々の願いや思いをまとめ上げる役目をしてきています。



インターネットで調べてみたら、以下のように載っていました。

わが家に男児が誕生したと天の神に告げ、「この子を守ってやって下さい」と守護を願って目印にしたものが鯉のぼりです。江戸時代、武家に男の子ができたら玄関の前に馬印やのぼりを立てて祝う風習があり、それが一般にも広まったのぼりを立てるようになり、庶民によって鯉のぼりが考案されました。

「鯉が竜門の滝を登ると竜となって天をかける」という中国の故事があります。「登竜門」という「男児の成長と出世を願う」言葉になりました。登竜門の話をもとに鯉のぼりという形で、青空を泳がせるという発想は、世界に類を見ない日本人独特の感性です。

もともと鯉は、清流だけでなく、池でも沼でも生きられる生命力の強い魚です。この中国の伝説から、鯉のぼりは環境の良し悪しにかかわらず、立派に成長し、立身出世するように願って飾られるようになったとも言われています。

校長先生と語ろう会

5月11日(火) PTA 総会の後に、毎年行われている恒例の行事ということです。直接保護者の方とお話ができるチャンスなのでとても楽しみにしていました。

PTAの役員の方が、事前に質問を集約してくださったので、ある程度準備ができました。質問の内容としては、大きく分けて4つあります。

1. 東日本大震災に関わること
2. いじめに関すること
3. 小規模校対策に関わること
4. その他の感想や要望

